



A decorative horizontal border consisting of a repeating pattern of stylized flowers and leaves. The pattern includes orange five-petaled flowers with yellow centers, pink four-petaled flowers with yellow centers, and green teardrop-shaped leaves. The design is arranged in a continuous sequence across the width of the page.

名取の小学生のみんなに知ってほしい わたしたち名取の歴史

名取老女

みなさん、こんにちは!

なとりろうじよ つた たい
もーっと！名取老女を伝え隊です。

みなさんは「名取老女」を知っていますか？

今からおよそ900年前の平安時代、 へいあんじだい

ここ名取にいたとされる巫女さんです。

「いのること」により、地域の人たちのために
力をつくした名取老女を紹介するため

リーフレットとペーパーサー^{いざな}ト「燐」を作りました。
ぜひご^{らん}覧ください！



ペープサート劇は、
二次元コードのリンク先から
見ることができるよ。
(名取市のyoutubeチャンネル)
おうちの人と一緒に見てね♪

「名取老女あさひの旅」

900年前の平安時代に名取にいたとされる心優しい巫女(みこ)さんのものがたり

①

あさひは生まれつき足腰が悪く、一人では歩くことができませんでした。けれども手先が器用だったので、わらじを編んでは町ゆく人に配って生活をしていました。



②

あさひは旅人から一晩泊めたお礼に牛王符(ごおうふ)をいただきました。毎日熱心に祈っていたら不思議なことにあさひの足腰は良くなりました。



③

自分の願いが叶ったあさひは、村人たちの願いも祈り続けたことから、いつしか「名取の巫女(みこ)」と呼ばれるようになりました。



【牛王符(ごおうふ)】

火事や泥棒など、悪いものから家をまもってくれる効果と病気が治るご利益があります。



【なぎの葉】

虫が食べた跡を見ると、文字が浮かび上がっていました。
「道とおし
年もようよう
老いにけり
思いおこせよ
我も忘れじ」

④

歩けるようになったあさひは、はるか遠く離れた熊野まで毎年お参りしていました。あと1回で目標の48回達成だった

のですが、あさひは高齢となりからだが弱っていました。



⑤

熊野の山伏が修行の途中寝ていると「名取の巫女を訪ねてみよ」との神様からお告げがあり、枕元にはあさひへの思いが文字となった

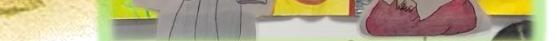


“なぎの葉”がありました。山伏はそれを持てあさひの元へ。神様に自分の思いが届いたあさひは大変感激しました。



⑥

しばらくすると、天皇の使者がやってきました。天皇の娘が病気なのであさひの力を貸してほしいとのこと。あさひは最後の力をふりしぶって京の都へ向かいました。



【登場人物紹介】



あさひ

人々のために熱心に祈り続けた名取にいたとされる巫女(みこ)さん。のちに「名取老女」と呼ばれるようになる。



山伏(やまぶし)

修行しながらあさひのもとを訪ねる。「なぎの葉」を渡す。



八咫鳥(やたがらす)

たたみ一畳ほどの大きさがあり足が三本ある大きなカラス。神様の化身(けしん)といわれている。あさひの旅を助けた。

⑦

都に到着し、あさひは天皇から「名取老女」という名前を授かりました。あさひの祈りが通じ、天皇の娘の病気が良くなり、ごほうびに熊野神社のご分霊(ぶんれい)をいただくことになりました。

*分霊：神社にまつられている神様の靈を分け、その分けた靈を別の場所の神社にまつりなおすこと。

*名取老女の歴史には諸説あります。

⑧

あさひはご分霊をいただくために熊野を訪れ、48回のお参りを叶えることができました。ご分霊の移動は夜しか許されていないため、あさひは名取に帰る途中、暗闇(くらやみ)のため道に迷ってしまいました。

⑨

あきらめかけたあさひのもとに「やたがらす」と呼ばれる大きなカラスが現れ、名取まで導いてくれました。しかし、力を使い果たしたやたがらすは死んでしまいました。あさひはやたがらすのためにお墓(はか)を建てました。

⑩

熊野神社のご分霊を名取に持ち帰ったあさひは、熊野の三社と同じような配置で3つの神社を建てました。あさひはこれまで以上に人々のために祈り続けました。

